

整理番号	51-3	事務事業名	消防活動資機材整備事業	作成部署	消防署消防課	電話	373-2322	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	中津 史郎	課長職名	千葉 良雄	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S49年	根拠法令等	消防力の基準・高圧ガス保安法・容器保安規則					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	消防力の向上を目指し、消防用器具機材を整備する。							

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第1章)
	節	防災と消防	(第7節)
	施策	消防・救急活動の強化	(第3施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	消防活動資機材(空気呼吸器及び耐用年数が15年経過したポンペ)	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	・老朽化した空気呼吸器及び耐用年数(15年)の経過するポンペの更新。 (大規模災害に対応する軽量予備ポンペの補充、消防職員の高齢化に伴う器材の軽量化)	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等)の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	昭和49年から平成15年まで 空気呼吸器25器・軽量ポンペ 52本 平成16年度空気呼吸器25器(廃棄1器除く)軽量ポンペ 52本(廃棄4本除く) 老朽化した空気呼吸器の更新及び耐用年数(15年)を経過した軽量ポンペについて、更新を含め導入した。
		17年度	平成17年度の更新は、空気呼吸器1器・軽量ポンペ4本(軽量ポンペ1本廃棄)を導入し空気呼吸器26器・軽量ポンペ55本とする。 平成18年度以降も計画的に更新する予定である。

## 2 実施(ドウ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源		969	978	978
	合計	0	969	978	978
人件費(概算)	人数(年間)		0.02	0.02	0.02
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	0	180	180	180
総事業費 +		0	1,149	1,158	1,158

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	空気呼吸器更新数	0	1器(廃棄1器)	1器	1器
	軽量ポンペ更新数	0	4本(廃棄4本)	4本(廃棄1本)	4本(廃棄1本)
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	累計数 呼吸器	25器	25器	26器	27器
	ポンペ	52本	52本	55本	58本
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	空気呼吸器(単価)		225,000円	229,000円	229,000円
	軽量ポンペ(単価)29.4Mpa		196,000円	196,000円	196,000円
	軽量ポンペ(単価)14.7Mpa		153,000円	155,000円	155,000円

### 3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	耐用年数による計画的な更新が実施されている。他市では充填圧2倍(活動時間2倍)の軽量ポンベの導入が進められており、空気呼吸器の面体装着部品(面体マスク)は衛生面から個人貸与も整備されている。当市としても、充填圧2倍の軽量ポンベ及び面体マスクの個人貸与が望ましい。
---------------------------------	---

#### 【妥当性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	空気呼吸器及び軽量ポンベは消防活動上必要不可欠な資機材であり、更新は市が行なう事業である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	消防活動上災害に応じた適切な資機材を使用する事により、市民の生命及び財産の被害を軽減できるので更新は妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	消防用資機材等の整備を進め消防活動に万全の体制を図る。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

#### 【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	消防活動上隊員の安全確保及び2次災害防止につながっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	消防資機材の延命を図るため、更に計画的な点検整備の強化を図っていく。	

#### 【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A      B      C

### 4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	消防用資機材の延命のため、計画的な点検業務はもとより、災害時において安全かつ迅速に業務を遂行するために、計画的な整備を行う。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	軽量ポンベの導入、更新を計画的に行い、消防隊員の安全の確保や機動性の向上を図る。